

令和元年度
都筑区個性ある区づくり推進費
決算状況について

令和 2 年 9 月 7 日
都 筑 区

目 次

令和元年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について	1
令和元年度 都筑区自主企画事業説明書	
自主企画事業費	
施策1 つながりと協働を育むまち	
1 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 重点 拡充	3
2 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） 重点 拡充	5
3 区役所改善推進事業 拡充	7
4 自治会・町内会支援事業 拡充	8
5 広報・広聴事業 拡充	9
6 まちづくり総合調整事業 拡充	10
7 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業）	12
施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち	
8 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 重点	14
9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	17
10 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	19
11 地域で支える高齢者支援事業	20
12 障害者交流啓発事業 拡充	21
施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	22
14 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	23
15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	25
16 メイドインつづき推進事業	26
17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	27
18 都筑 国際交流プログラム 拡充	28
19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	29
施策4 安全・安心なまち	
20 災害にそなえる自助・共助の推進事業 重点 拡充	30
21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	32
22 安全・安心なまちづくり事業 拡充	34
23 食と暮らしの安全推進事業	35
施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	36
25 ハマロード・林・ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	38
26 環境にやさしいまち推進事業	40
温暖化対策プラス事業	
市立保育所における温暖化対策啓発事業 新規	42

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規は**新規**、と表記しています。

令和元年度 都筑区個性ある区づくり推進費 決算状況について

<個性ある区づくり推進費総括表>

(単位：円)

区 分	予算額	決算額	増△減
1 自主企画事業費	101,290,000	98,125,195	3,164,805
2 統合事務事業費	40,532,000	39,598,934	933,066
(1) 統合事務費	22,669,000	22,037,545	631,455
(2) 統合事業費	17,863,000	17,561,389	301,611
3 区庁舎・区民利用施設管理費	633,618,000	632,010,911	1,607,089
4 温暖化対策プラス事業	8,061,000	7,633,082	427,918
合 計	783,501,000	777,368,122	6,132,878

<内訳>

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	予算額	決算額	増△減
(1) つながりと協働を育むまち	32,462,000	30,729,183	1,732,817
(2) いきいきと健やかに暮らせるまち	17,868,000	17,187,091	680,909
(3) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	18,798,000	18,887,987	△ 89,987
(4) 安全・安心なまち	23,579,000	23,741,032	△ 162,032
(5) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	8,583,000	7,579,902	1,003,098
合 計	101,290,000	98,125,195	3,164,805

2 (2) 統合事業費

区 分	予算額	決算額	増△減
広報よこはま発行事業	9,718,000	9,705,490	12,510
市民相談事業	1,540,000	1,487,158	52,842
クリーンタウン横浜事業	1,442,000	1,318,263	123,737
消費生活推進員活動事業	448,000	447,500	500
スポーツ推進委員支援費	1,798,000	1,753,260	44,740
青少年指導員事業	1,397,000	1,329,718	67,282
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520,000	1,520,000	0
合 計	17,863,000	17,561,389	301,611

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	予算額	決算額	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	230,256,000	224,027,183	6,228,817
区版市民活動支援センター	931,000	897,799	33,201
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,509,000	5,427,806	81,194
地区センター等管理費	146,106,000	146,106,000	0
ログハウス管理費	7,762,000	7,762,000	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	33,413,000	32,719,214	693,786
老人福祉センター等管理費	105,103,000	105,101,135	1,865
コミュニティハウス管理費	50,768,000	50,767,990	10
区スポーツセンター管理費	38,901,000	38,901,000	0
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	6,894,000	6,894,000	0
その他（広場・遊び場）	475,000	447,479	27,521
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500,000	12,959,305	△ 5,459,305
合 計	633,618,000	632,010,911	1,607,089

4 温暖化対策プラス事業

事 業 名	予算額	決算額	増△減
市立保育所における温暖化対策啓発事業	8,061,000	7,633,082	427,918

令和元年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

1 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R元予算額	R元決算額	差引額
	338万円	298万3千円	39万7千円

1 地域懇談会の開催

第3期計画推進に向けた地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催しました。

- ・地域懇談会：15地区、参加者数756人

2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 計画の推進を担う各関係機関をはじめとする関係者及び地域住民に対し、地域福祉保健計画の啓発を進めました。また、第4期計画の策定に向けた機運の醸成を図るため、計画啓発用物品の製作を行いました。

(2) 地域のつながりづくりや活動の担い手育成支援等のため、職員を対象とした研修を実施しました。

3 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行いました。

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について、引き続き取り組みました。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、整備予定地周辺の自治会町内会をはじめ、各種団体等と調整しました。

- ・(仮称)都田地域ケアプラザボランティア懇談会：6月19日、参加者数19人

5 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の機会を提供しました。(7月、11月、2月、計3回発行)

6 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期地域福祉保健計画の推進やその方向性、地域の取組について、学識経験者や区民の意見交換の場としました。

また、あわせて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援しました。

- ・都筑区地域福祉保健計画推進委員会：6月28日、12月26日
- ・都筑区自立支援協議会全体会：5月8日、10月31日
- ・区レベル地域ケア会議：1月20日

7 発表会の開催

計画推進のための各地区の取組を共有する場として、計画発表会「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催しました。

- ・「つづき あいフォーラム」：2月15日、249人、都筑公会堂
- ・「つづき あいパネル展」：2月13日～19日、区民ホール

主な増減	<ul style="list-style-type: none">・研修講師を庁内職員が担当したことによる報償費の残・「つづき あい基金」助成金の申請団体数の減による都筑区社会福祉協議会への補助金交付額の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	都筑区地域福祉保健計画子ども・青少年部会の開催中止（3月9日）

2 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業) 重点 拡充	R元 予算額	R 決算額	差引
	273万2千円	253万6千円	19万6千円

1 はじめる (個人支援)

(1) 大人の学級

個人の学びを支援し地域活動へつなげることを目的に、特定のテーマを設定した学級を開催しました。(3テーマ、6月～1月、全14回、計105人)

(2) ベース60 男の居場所

地域を知り、仲間と出会い、地縁をはぐくむ場として、ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催しました。(6月～2月、全8回、計28人)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

区内・近隣の女性によるネットワークづくりの講座やイベントを開催しました。

- ・講座：10月～12月、全8回、計224人
- ・イベント：3月、講演会をYouTube配信

(4) 区民活動センター利用促進事業

区民活動センターの新規利用者獲得のための夜間開館事業を委託により実施しました。(11月～3月、毎週金曜日17時～20時の開館時間延長)

2 つながる (個人から団体へ)

(1) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習をはじめのきっかけを提供するためのツールとして、広報紙を発行しました。なお、一部記事は市民ライターが執筆しました。(6月、9月、12月、3月)

(2) 区内の区民利用施設情報交換会

区内施設の情報交換会を行い、ネットワークの強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めました。(11月25日、29人)

3 ささえる (団体支援)

(1) つづき^{ひと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによるパネル展示を実施しました。(3月、区民ホール)

(2) 縁ジンミーティング

区民活動センターの登録団体を対象として、テーマ別のスキルアップ講座を実施するとともに団体間の交流を図りました。(6月～12月、全5回、計99人)

(3) 区民活動補助金

市民活動団体が自主的かつ主体的に行う、公益性が高く地域課題の解決につながる事業に対し補助金を交付しました。(交付数8団体)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等、今年度市民活動・生涯学習事業を実施した団体の成果を確認しました。(3月、8団体)

主な増減	つづき人交流フェスタについて、一部イベントを中止したことによる消耗品費、印刷製本費の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	つづき人交流フェスタの一部イベントの中止 区民活動補助金交付団体の一部イベントの中止

		R 元予算額	R 元決算額	差引
3	区役所改善推進事業 拡充	1,369 万円	1,491 万 7 千円	△122 万 7 千円
<p>1 区役所改善推進事業</p> <p>(1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会で検討のうえ、実施しました。(6月～3月)</p> <p>(2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施しました。(12月18日、都筑公会堂、参加者数433人)</p> <p>2 区庁舎等環境改善</p> <p>パスポートセンターの開設に合わせて、戸籍課証明発行窓口を拡張しました。(8月)</p> <p>また、様々な来庁者が利用しやすい区庁舎になるよう、戸籍課及び保険年金課の窓口レイアウト変更や待合いフロアの環境整備を行いました。(12月～1月)</p> <p>3 税理士等派遣事業</p> <p>確定申告の時期(2月17日～3月16日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援・受付を、区民に身近な区役所で行いました。(区役所3階会議室等、相談件数934件)</p> <p>4 来庁者サービスアップ事業</p> <p>窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置しました。(配置時間:8時45分～17時)</p> <p>また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施しました。(実施時間:9時30分～15時30分、217日間実施、利用者数延べ3,209人(保育従事者数延べ864人))</p>				
主な増減		都筑区総合庁舎2階戸籍課、保険年金課および待合フロアレイアウト変更業務委託による委託料の増		
新型コロナウイルス感染症対策による影響		来庁者サービスアップ事業について、3月の一時託児(3月2日～3月31日)及び保育協力者のための研修(3月2日)の中止		

4 自治会・町内会支援事業 拡充	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
		342 万 9 千円	306 万 1 千円
<p>1 自治会町内会長感謝会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自治会町内会長感謝会を中止しました。 永年にわたり尽力された会長に対しては、感謝状・表彰状を個別に贈呈しました。 （被表彰者数 9 人）</p> <p>2 自治会町内会への情報提供 区連会資料を、8 月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送しました。（毎月約 170 か所） 3 月の区連会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止しました。</p> <p>3 自治会町内会加入促進 地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布 ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架 ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布 ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ ・自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を作成・配布：3 月、1,000 部発行 			
主な増減	自治会町内会長感謝会の中止による委託料等の減		
新型コロナウイルス 感染症対策による影響	自治会町内会長感謝会の中止 区連会の中止（3 月）		

5 広報・広聴事業 拡充	R 元予算額	R 元決算額	差引
		191 万円	190 万 3 千円

1 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、主に広報区版に携わる職員を対象とした広報研修を開催しました。

- ・ 広報物の作り方講座：8月9日、参加者数 45 人

2 広報区版記録集発行事業

区制 25 周年を迎えるにあたり、これまでの広報よこはま都筑区版の記録集を記念式典にあわせて発行しました。(11 月、2,000 部)

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けた Twitter 等での情報発信を行いました。

4 PRボックスの活用

毎月 1 日に区内全駅の PR ボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示したほか、毎月 10 日には広報印刷物の補充等を行いイベント・お知らせ等の積極的な周知を行いました。

5 転入者向けガイドブック発行事業

平成 28 年度に発行し、30 年度に更新した「Garden×都筑区役所」を増刷しました。(2 月、7,000 部)

6 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させました。

(1) 主要事業説明等周知

「主要事業説明」を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報区版 6 月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・ 主要事業等説明会：4月21日～5月26日、15 地区連合自治会町内会
- ・ パネル展示：5月25日～29日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行いました。

- ・ 地域のつどい（7回）：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
- ・ 区長の気軽にトーク（2回）：地域で活動している団体と区長との意見交換会

6 まちづくり総合調整事業 拡充	R元予算額	R元決算額	差引
		627万9千円	432万円

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区インターンシップ等を行いました。

また、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催しました。

- ・地域連携協力会議：5月31日、東京都市大学横浜キャンパス
- ・インターンシップの実施：8月～9月、受入数2人
- ・都市大留学生カフェ：12月10日、1月16日、中川西地区センター
- ・地域連携調査研究発表会：新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行いました。

- ・28講座開催(小学校22校、中学校4校)

2 都筑区区民意識調査

一定数無作為抽出した区民を対象に、区政に対する意向や意識を調査し、今後の都筑区の施策の基礎資料としました。

- ・調査実施：5月20日から6月17日まで
- ・回収率：49.9%（3,000票配布、1,496票回収）
- ・単純集計の結果の報告（記者発表）：9月20日
- ・報告書公表、調査結果の報告①（記者発表）：12月20日
- ・調査結果の報告②（広報よこはま都筑区版、区連会）：12月20日

3 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行いました。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

都筑区民文化センター(仮称)の整備が予定されているタウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討及び取組支援を行いました。

4 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上に向けた方策

「都田・池辺地区ボランティアバス」の実証運行期間中の運行支援を行いながら、運営体制及び運行ルート等の検討を行いました。その後、12月より本格運行を開始しました。

(2) バス路線利用促進に向けた周知PR

横浜市生活交通バス路線の利用促進PRの取組を進めました。

- ・生活交通バス路線の周知用ポスターをバス車内に掲示
- ・318系統バス沿線マップの作成(9,000部×2種類)及び利用促進PR:10月

(3) まちの課題解決事業

地域のつどい等で把握できた課題について、緊急性や実現可能性等を考慮しながら取組及び検討を実施しました。

主な増減	<ul style="list-style-type: none">・都筑区区民意識調査における調査業務委託の契約残・都田・池辺地区ボランティアバスの運行支援について、局の支援や地域の自立的な運営による企画調査その他委託料の減
新型コロナウイルス感染症対策による影響	地域連携調査研究発表会の中止

7 地域 de 育む青少年事業 (青少年健全育成事業)	R 元予算額	R 元決算額	差引
		104 万 2 千円	101 万円

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催しました。(年2回)

- ・第1回「ボッチャを体験し、青少年に対して指導する際のアプローチ方法を学ぼう」
：6月16日、都筑区役所6階大会議室、参加者数60人
- ・第2回「地域で青少年育成に関わる方のお話を伺い青少年指導員の役割について考えよう」
：1月26日、都筑区役所6階大会議室、参加者数70人

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場を提供しました。(申込者数213人、体験先136プログラム)

さらに、中・高校生が、はあと de ボランティアの体験プログラムを自ら企画・運営する「STEP UP プログラム」を実施しました。

- ・レモネードスタンド
：8月21日、えだきん夜店市(えだきん商店会)、参加者数18人

(2) はあと de ボランティア プレコース(小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施しました。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供しました。(申込者数56人、体験先21プログラム)

(1) (2) 共通のスケジュール

- ・オリエンテーション：7月19日～22日、全6回、都筑多文化・青少年交流プラザ及び区内4館地区センター
- ・ボランティア体験：7月24日～8月23日、区内各所(夏祭り、区内区民利用施設、保育所、高齢者施設、区内企業、コミュニティカフェ等)
- ・振り返り・修了証授与：8月24日、都筑区役所6階大会議室

3 つづきウォーク&フェスタ

緑道や公園等の区の魅力の発見や、青少年を含む参加者の世代を超えた交流、健康増進を目的とした「つづきウォーク&フェスタ」の開催を支援し、地域のつながりを活用した青少年育成と健康づくりを計画しましたが、雨天のため中止となりました。

- ・つづきウォーク&フェスタ実行委員会：5月30日、8月26日、10月28日、
2月14日
- ・つづきウォーク&フェスタ：11月23日、すきっぷ広場及び区内各所（雨天中止）

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

8 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点	R元予算額	R元決算額	差引
	919万3千円	943万円	△23万7千円

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場で4回とポポラ会場で4回実施しました。

- ・区役所会場：5月25日47組、8月10日42組、11月9日42組、2月15日43組
- ・ポポラ会場：7月27日16組、9月28日16組、1月25日16組、3月28日16組

また、都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子健康手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」の裏面に印刷し、全妊婦に配布しました。

2 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施しました。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える外遊び研修会を開催しました。

- ・外遊び連絡会：1月22日、参加者数21人
- ・外遊び研修会：10月4日、参加者数24人、実地研修：10月24日、参加者数28人

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点P o p o l a（ポポラ）や区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施しました。

また、子育てサークルの運営を支援するため、研修や運営支援、情報交換（サークル交流会）を行いました。

- ・子育てネットワーク会議：5月31日、参加者数20人、拡大研修2月10日、参加者数103人
- ・子育てネットワーク交流会：12月2日、参加者数93人

4 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を実施しました。（延べ311件）

5 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、はまっ子ふれあいスクール委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施しました。

- ・はまっ子ふれあいスクール訪問：8回
- ・運営に役立つ情報をまとめたキッズクラブ通信を各クラブに配付：8月、1月、年2回

6 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施しました。

- ・池辺町連合自治会館：参加児童数延べ114人、計43回

7 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演会や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けました。

- ・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～
：9月7日、14日、21日、参加者数180人、PTA協力者数44人
都筑区役所1階多目的室

8 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して、命の授業を区内の市立小学校(21校)で実施しました。(6月25日～2月26日)

9 赤ちゃんふれあい体験事業

中学生を対象に、乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、赤ちゃんふれあい体験事業を区内の全市立中学校(8校)で実施しました。(7月～8月、参加者数延べ72人)

10 「つづき・育なび」推進事業

スマートフォンやパソコンから乳幼児健診や保育園・幼稚園、医療機関、お出かけスポット、予防接種スケジュールなどの情報を手軽に見られる「つづき・育なび」ウェブ版及びアプリを運用しました。

11 都筑区地域子育て支援拠点サテライトオープニングイベント

都筑区地域子育て支援拠点サテライトの開所を記念し、オープニングイベントを区制 25 周年記念行事として実施しました。(10月28日、ららぽーと横浜)

主な増減	都筑区地域子育て支援拠点サテライトオープニングイベントの実施等にかかる委託料の増
新型コロナウイルス感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none">・ 0歳児地域育児教室の休止（3月分）・ 地域が支える子ども達の居場所づくり事業（3月分）の中止・ 命の授業の中止（3月6日荏田小学校）

9 つづき健康づくりサポート事業 重点 拡充	R元予算額	R元決算額	差引
	263万円	241万4千円	21万6千円

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨しました。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月7日～15日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：月2回、区役所内トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：
月2回、啓発者数延べ1,807人（うち個別指導886人）

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた間断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指し実施しました。

- ・食育・健康フェアパネル展：6月14日～20日、
イベント：6月22日、区民ホール、参加者数700人
- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：
区内11か所、延べ37回、369人
- ・食育情報交換会：
第1回7月2日、参加者数36施設 61人（食生活等改善推進員12人含む）
第2回12月10日、参加者数46施設 67人（食生活等改善推進員9人含む）

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員と協働で健康に関する講演会を、各推進員会発足25周年記念として開催することで、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成しました。

さらに、「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知し、自らがそれぞれの健康づくりに取り組むきっかけ作りを行いました。

- ・合同健康講演会「木久蔵流 笑うが一番」 講師 林家 木久蔵 氏
：10月9日、都筑公会堂、参加者数440人

4 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成29年度から保険年金課待合スペースで実施しているストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等の取り組みを引き続き実施しました。

主な増減	合同健康講演会に係る委託の契約残
新型コロナウイルス 感染症対策による影響	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援者事業会場での食事相談の中止（1月30日、3月10日） ・保健活動推進員全体研修の中止（3月4日）

10 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R元予算額	R元決算額	差引
	333万3千円	298万9千円	34万4千円
<p>1 おひさま広場（園庭開放） 市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5園計 1,074 回、利用者数延べ 12,906 人、協力者数延べ 1,137 人 <p>2 休日園庭開放 市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力により、毎月第3日曜日に園庭を開放しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2園計 18 回、利用者数延べ 373 人、地域の協力者数延べ 51 人 <p>3 給食体験事業 地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けました。また、市立保育所職員が保護者へ食事のとり方や作り方について助言しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5園計 50 回、利用者数延べ 256 人 <p>4 ほいくえん広場 市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行いました。親子が参加しやすいように地域ごとに実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aエリア（東山田周辺）：9月6日、東山田地域ケアプラザ 参加者数 53 人 （仲町台周辺）：9月12日、仲町台地区センター 参加者数 122 人 ・ Bエリア（中川・北山田周辺）：11月13日、北山田地区センター 参加者数 109 人 ・ Cエリア（茅ヶ崎周辺）：7月5日、都筑公会堂 参加者数 192 人 ・ Dエリア（池辺町、川和町周辺）：10月30日、都筑地区センター 参加者数 107 人 <p>5 積木交流 「積木の都筑」をテーマに、保育施設や幼稚園等における地域の子育て支援の充実を図るため、地域の親子向け育児講座として、区民ホールで積木のイベントを区制25周年記念行事として開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積木イベント：9月20日、区民ホール、市立保育所・民間保育所の公開保育 9月21日、区民ホール、地域の親子対象 参加者数 193 人 			
主な増減	3月のおひさま広場休止に伴う報償費の残		
新型コロナウイルス 感染症対策による影響	園庭開放(休日を含む)及び給食体験事業の休止（3月）		

	R 元 予算額	R 元決算額	差引
11 地域で支える高齢者支援事業	124 万 2 千円	116 万 9 千円	7 万 3 千円
<p>1 認知症普及啓発事業</p> <p>(1) 認知症フォーラム「認知症になっても安心して暮らすために!!」 都筑区内の方へ認知症の症状や治療方法、相談先、経過等、関連する情報を広く提供をし、認知症だけでなく認知症の方や家族等への対応等についても、理解を深めるための講演会を開催しました。(9月7日 都筑公会堂 176人)</p> <p>(2) サポート連絡会 地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行いました。 ・認知症サポート連絡会：年11回開催(3月休会)</p> <p>2 認知症人材育成事業 認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施しました。(2月6日)</p> <p>3 福祉保健情報提供事業 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ(市民ボランティア)を配置しました。(配置日数98日 利用人数1,157人) チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、お客様の案内誘導等を行いました。チラシ・パンフレット類は最新資料に更新し、来庁者によりわかりやすい配置になるようにパンフレットラックのレイアウトを変更しました。 また、タブレット端末を用いて、高齢者や障害者支援等に関する最新の情報をご案内しました。</p>			
新型コロナウイルス感染症対策による影響	認知症サポート連絡会の休止(3月)		

12 障害者交流啓発事業 拡充	R 元 予算額	R 元決算額	差引
	147 万円	118 万 4 千円	28 万 6 千円
<p>1 福祉農園事業</p> <p>障害者の自立・社会参加のために、地域の理解を深め、つながりを作る啓発事業を行いました。</p> <p>新たに「～新・福祉農園イベント～障害者と地域の共生フェスタ」という内容で実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芋ほりイベント：10月20日、障害児・者のみの参加 参加者数 158 人 ・～新・福祉農園まつり～障害者と地域の共生フェスタ（講演会、障害者スポーツ ボッチャの体験など）：12月1日、区民ホール及び都筑公会堂 参加者数延べ 約 300 人 <p>2 障害者地域啓発事業</p> <p>(1) 多くの区民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やすための事業を推進しました。</p> <p>(2) 障害者グループホーム 80 か所に対し、地域防災拠点訓練の日程及び参加推奨を行いました。地域の方と顔が見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会を作りました。（参加したグループホーム数 51 か所）</p> <p>また、希望のあった地域防災拠点運営委員会において、障害者理解や発災時の対応について講座を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎中学校地域防災拠点運営委員会（11月17日 参加者数 18 人） ・中川西小学校地域防災拠点運営委員会（1月25日 参加者数 13 人） <p>(3) 障害者自立支援協議会を活用し、地域向け講演会を区内の地域ケアプラザで行い、その活動内容についてホームページを使って情報発信しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域向け講演会（障害理解の啓発） <ul style="list-style-type: none"> ：加賀原地域ケアプラザ（9月14日、28日 参加者数延べ 67 人） ：葛が谷地域ケアプラザ（10月20日、11月10日 参加者数延べ 64 人） <p>3 障害者施設支援事業</p> <p>障害者の社会参加につなげるために、区役所やセンター南・センター北駅で障害者施設の自主製品販売を支援しました。</p> <p>また、障害者施設のネットワークである「てつなぎつづき」が、障害者と地域住民との交流の機会に自主製品販売を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回てつなぎまつり」の開催支援（製品作成のデモンストレーション及び体験等） <ul style="list-style-type: none"> ：8月26日、障害者研修保養センター 横浜あゆみ荘 			
主な増減	障害者地域啓発事業のホームページ作成について、局予算を活用したことによる減		

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

13 街のにぎわいづくり事業 重点 拡充	R元 予算額	R元 決算額	差引
		620万5千円	596万円
<p>1 都筑区民まつり</p> <p>区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第25回都筑区民まつり」を実施しました。(11月3日、来場者数約20万人)</p> <p>また、記念式典(11月9日、参列者数317人)等、区制25周年の記念事業を実施しました。</p> <p>2 商店街魅力発信事業</p> <p>都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行いました。</p> <p>また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図りました。具体的には、商店街からのラブレター事業の景品として横浜ビー・コルセアーズ関連グッズのプレゼントや、区民ホールにて商店街のパネル展を開催し、商店街の紹介と合わせてガチハンバーグ出店店舗の紹介も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑区商店街魅力発信ワーキング：4月～3月、月1回(8月を除く) ・商店街からのラブレター事業：プレゼント抽選、年5回、応募数123件 ・都筑区商店街紹介パネル展：7月18日～24日、区民ホール <p>3 都筑・ドイツ交流イベント事業</p> <p>センター北駅前芝生広場を会場に、ドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会とともに開催しました。(12月7日、8日)</p> <p>昨年度に引き続き「ものづくりがつなげるつづきとドイツ」と題したメイドインつづきとドイツ企業のコラボレーション企画(クリスマスツリー製作やワークショップ等)を実施しました。</p>			
主な増減	都筑区民まつり補助金の残		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	『横浜ビー・コルセアーズ×都筑区商店街連合会連携事業「センター北まつりに行ってビーコルを応援しよう!」』の中止(3月21日・22日)		

14 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業 重点 拡充	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
	90 万 5 千円	76 万 4 千円	14 万 1 千円

1 都筑×英国文化交流講座の開催

東京 2020 大会を契機として都筑区と英国の交流を深めるため、都筑区と英国の相互の文化を知り、2020 年のホストタウンとしてのおもてなしを考えるための講座を開催しました。

なお、講座の開催にあたっては、都筑多文化・青少年交流プラザと連携して実施しました。

- ・「日本とイギリス文化の融合～素朴な食にこそ豊かさがある～」講座

: 10 月 6 日、都筑民家園、参加者数 38 人（うち外国人 7 人）

講師 青木 ゆり子 氏 e - f o o d . j p 代表

馬場 寛明 氏 TANBO NO WA

2 国際理解講座の開催

2020 年に向けて、英国の事前キャンプ地となることを P R するために、東京 2020 大会の前年に開催されたラグビーワールドカップ 2019[™]の盛り上がりを生かし、相乗的に 2 大会の機運醸成を図り、区民の関心を高める国際理解講座を開催しました。

平成 29、30 年度の国際理解講座の参加者に、令和元年度の講座について企画段階から運営協力をいただきました。

- ・「グローバル人材と人間力 ～ボランティアレガシーを残すために～」講座

: 8 月 7 日、8 日、都筑多文化・青少年交流プラザ、参加者数 23 人

(1) 8 月 7 日「ボランティアレガシーを残すためにできること」

講師 栗栖 良依 氏 N P O 法人スローレーベル 理事長

講師 岡田 輝彦 氏 公益財団法人横浜市国際交流協会 理事長

(2) 8 月 8 日「ボランティア経験を通じて、個人のライフキャリアにレガシーを」

講師 中村 天江 氏 リクルートワークス研究所 主任研究員

3 英国代表チーム歓迎イベント

横浜国際プールでプレ事前キャンプを行った英国水泳代表チームとの交流会等を、区内の施設等で実施しました。

(1) プレ事前キャンプ前の取組

- ・北山田駅、横浜国際プール間の階段装飾の更新：6 月

- ・横浜国際プールに展示するガラスアート作成イベント：6 月 8 日、参加者数 30 人

(2) プレ事前キャンプ中の取組

- ・練習初日の歓迎セレブレーション：7 月 8 日、参加者数 268 人

- ・練習見学会：7 月 12 日、13 日、参加者数 819 人

- ・英国水泳代表選手及びスタッフの日本文化体験会：7 月 12 日、15 日

- ・練習最終日の歓送ミニセレモニー：7 月 16 日、参加者数 71 人

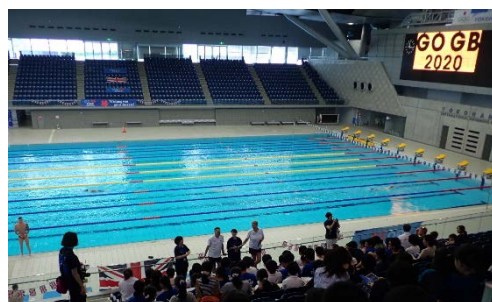
4 ボツワナ共和国のホストタウン登録に伴う取組

第6回都筑・ボツワナ交流児童画展等の機会を活用して、ボツワナ共和国のホストタウン登録の広報を行いました。

- ・第7回アフリカ開発会議関連事業「映画館でアフリカにふれて、体感しよう！」におけるPRチラシの配架：8月10日～30日、イオンシネマ港北ニュータウン
- ・第6回都筑・ボツワナ交流児童画展にPRパネルを展示：12月19日～26日、区民ホール
- ・都筑区新年賀詞交換会にPRパネルを展示：1月6日、新横浜プリンスホテル
- ・東京2020大会200日前イベントにPRパネルを展示：1月25日、ららぽーと横浜



プレ事前キャンプ中の英国水泳代表選手及びスタッフの日本文化体験会の様子



英国水泳代表チームの練習見学会の様子

主な増減

国際理解講座の開催日数を変更したことによる報償費の減

15 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	R 元 予算額	R 元決算額	差引
	196 万 9 千円	168 万円	28 万 9 千円
<p>1 都筑区民文化祭事業</p> <p>区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創りました。また、令和元年度は「横浜音祭り 2019」の開催年であったため、都筑区とゆかりの深い「ドイツ」をテーマとした音楽イベントの開催を支援しました。</p> <p>(1) 第 24 回都筑区民文化祭</p> <p>文化活動の成果発表の場、文化を通じた交流の場及び気軽に文化に触れる場を区民の皆様に提供しました。(1月18日～2月2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャッチフレーズ「広げよう 令和の文化を都筑から」 ・展示部門：区民ホール、出展者数 301 人 ・舞台部門：都筑公会堂、出演者数 44 団体、延べ 886 人 <p>(2) 「横浜音祭り 2019」区連携事業 ドイツ音楽祭 in 都筑</p> <p>：9月21日、都筑公会堂 来場者 延べ 840 人</p> <p>2 体育協会活動補助事業</p> <p>都筑区体育協会に対し補助や情報共有を行い、各種目別の区民大会の開催支援を行いました。</p> <p>3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業</p> <p>区民の皆様スポーツ振興と健康増進、異世代交流を図るため、都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会の開催に向け準備を行ってききましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。</p> <p>4 都筑スポーツ・文化賞事業</p> <p>スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めました。(1月6日、都筑区新年賀詞交換会会場、被表彰者数7人、団体数4団体)</p> <p>5 地域の読書活動推進事業</p> <p>横浜市市民読書活動計画の改定に基づき、第2期「都筑区読書活動推進目標」を定めました。あわせて、読書をより身近なものにするため、読書活動団体・読書関連施設と連携し、「つづきブックマップ～都筑区読書関連施設マップ～」を更新しました。</p>			
主な増減	都筑ふれあい健康マラソン大会の中止に伴う補助金の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	都筑ふれあい健康マラソン大会の中止（3月1日、申込者数1,076組、1,394人）		

16 メイドインつづき推進事業	R元予算額	R元決算額	差引
	436万9千円	509万5千円	△72万6千円
<p>1 展示会出展等支援</p> <p>神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行ったほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テクニカルショウヨコハマ 2020：2月5日～7日、パシフィコ横浜、出展企業数 32 社 ・企業紹介冊子の作成：1月、2,000部 <p>2 地産地消の推進</p> <p>地域の中での地産地消の取組を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都筑野菜朝市：定期開催（計17回） 都筑区役所、月2回（第2・4土曜日） 拡大開催（計16回） I K E A港北 ・食育セミナー：11月17日、50人、I K E A港北 ・区内小学校への地産地消に係る出張授業：11月、3校 ・都筑野菜マルシェセット※の貸出：7件 ※直売等に活用できる、のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ ・リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPR ・食育健康フェアにて都筑野菜のPRと食育を推進するイベント：6月22日、約50人 ・J A横浜と連携した都筑野菜を用いた料理教室：11月～12月、3回、53人 ・都筑区制25周年を記念する特別給食：11月～12月、区内の全市立小学校22校 <p>3 事業PRイベントの実施</p> <p>区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施するとともに、PR動画等の広報媒体を活用し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏休み！つづき・ものづくり体験！」：7月27日、来場者数約400人（ものづくり体験ワークショップに参加児童数：延べ226人）、協力企業15社、港北みなも 			
主な増減	都筑区制25周年を記念する特別給食を実施するにあたり、ランチオンマットを作成したことによる増		

17 「図説 都筑の歴史」編さん事業 拡充	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
	320 万円	320 万円	0 円
<p>1 編さん委員会の支援</p> <p>平成 30 年度に引き続き、有識者や区民団体代表などの協力を得ながら、発行に向けて原稿の調整作業を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 20 回「図説 都筑の歴史」編さん委員会：8 月 9 日 ・ 第 21 回「図説 都筑の歴史」刊行前最終編さん委員会：9 月 27 日 <p>2 「図説 都筑の歴史」の発行</p> <p>11 月 9 日の都筑区制 25 周年記念式典と同日に発行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「図説 都筑の歴史」の発行：2,300 部、価格 2,000 円、都筑区ふるさとづくり委員会発行 <p>3 刊行イベントの開催</p> <p>横浜市歴史博物館や都筑図書館と連携した「図説 都筑の歴史」刊行イベントとしてパネル展を実施し、刊行について周知を図る等、区制 25 周年を盛り上げました。</p> <p>(1) パネル展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パネル展：9 月 14 日～30 日、都筑図書館 <p>(2) 区民活動団体や区民利用施設等との連携開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 刊行イベント「ニュータウン人・縁卓会議 in 港北ニュータウン」（主催：ニュータウン人・縁卓会議 in 港北ニュータウン実行委員会） ：9 月 22 日、東京都市大学横浜キャンパス <p>4 「図説 都筑の歴史」の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体裁：A 4 判、横書き、フルカラー、約 250 ページ ・ 構成：序章 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 章 原始（旧石器時代から古墳時代まで） 第 2 章 古代（奈良時代から平安時代まで） 第 3 章 中世（鎌倉時代から小田原北条時代まで） 第 4 章 近世（徳川家康の江戸入府から廃藩置県まで） 第 5 章 近代（明治維新から第二次世界大戦終了まで） 第 6 章 現代（戦後から現在まで） 付録（都筑区地図と町名、指定・登録文化財一覧、年中行事、歴代選出市議員・連合町内会自治会会長・区長一覧等） 			

18 都筑 国際交流プログラム 拡充	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
	155 万円	159 万 5 千円	△4 万 5 千円
<p>1 都筑多文化・青少年交流プラザ事業</p> <p>外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」に以下の事業の運営を委託しました。</p> <p>(1) 国際交流・外国人支援事業</p> <p>外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成、国際理解の促進のためのイベント、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語による情報提供や生活相談 : 通年 ・第6回都筑・ボツワナ交流児童画展 : 11月～3月 ・国際交流イベント プラザまつり : 3月8日（新型コロナウイルスの影響により中止） <p>(2) 市民活動支援</p> <p>日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語教室 : 週2回程度 ・日本語ボランティア養成講座 : 10月16日～18日、3回 <p>2 第7回アフリカ開発会議 関連事業</p> <p>センター北にあるイオンシネマ港北ニュータウンにて、サバンナのジオラマを展示するなどのロビープロモーションやPR動画を活用したイベント等を実施し、横浜で開催される国際会議に向けた区内の機運を高めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教室（ボツワナ大使訪問）：6月18日、茅ヶ崎小学校 ・映画館でアフリカにふれて、体感しよう！ : 8月10日～12日、イオンシネマ港北ニュータウン 来場者約21,000人 ・第7回アフリカ開発会議公式サイドイベント（「都筑・ボツワナ交流児童画展」で描かれたボツワナのベン・テマ小学校の児童の絵を通して、児童画展5年間の歩みを振り返る展示） : 8月27日～30日、パシフィコ横浜 			
新型コロナウイルス感染症対策による影響	国際交流イベント プラザまつりの中止（3月8日）		

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R 元 予算額	R 元決算額	差引
	60 万円	59 万 3 千円	7 千円
<p>1 地元応援イベントの実施</p> <p>地域の文化・芸術団体など地域の皆様と連携し、横浜国際プールや区内施設において、横浜ビー・コルセアーズを応援するイベントを実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボール教室：8月1日、東山田中学校体育館、参加者数 区内中学校（9校）のバスケットボール部員 61 人 ・開幕カウントダウンボード設置： <ul style="list-style-type: none"> E a r l y C U P 9月14日～16日開催、8月20日～9月14日 Bリーグ 10月6日開幕、9月15日～10月6日 横浜国際プール 10月19日初戦、10月7日～19日 ・パネル展示：9月25日～10月1日、区民ホール ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月 <p>2 都筑区応援 d a y の実施</p> <p>横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様へ試合観戦を呼びかける都筑区応援 d a y を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「横浜音祭り 2019」の開催年度に合わせ、オープニングセレモニーにて、区内中学校吹奏楽部による演奏を実施：10月19日 <p>3 商店街との連携支援</p> <p>横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画として、第21回センター北まつりにおいてイベントを企画することで、チームと商店街の連携や地域に根差すチーム作りを図りましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により第21回センター北まつりは中止となりました。</p>			
新型コロナウイルス感染症対策による影響	『横浜ビー・コルセアーズ×都筑区商店街連合会連携事業「センター北まつりに行ってビーコルを応援しよう!」』の中止（3月21日・22日）		

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R元予算額	R元決算額	差引
		328万8千円	259万7千円

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援しました。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月17日、参加者数35人
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月1日、参加者数34人
第2回 6月29日、参加者数16人
第3回 1月25日、参加者数30人
- ・各地域防災拠点で実施された訓練の支援：25拠点、参加者数計4,907人

2 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図りました。

- ・防災・減災講演会：2月20日、ハウスクエア横浜、参加者数99人、
講師 鈴木 佳世子氏 料理研究家・防災クッキングアドバイザー
- ・出前講座：11回
- ・自治会町内会向け研修会の開催（2回）

3 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）

取組を実施する地域に対して災害時要援護者名簿を提供しました。また、地域の実情に合った支援体制づくりを積極的に支援するため、連合町内会自治会に対し研修会を開催するとともに、補助金を交付しました。

- ・名簿提供地区：連合町内会自治会 3地区、単位自治会町内会 1地区
- ・自治会町内会向け研修会の開催（12月17日、149人）
- ・補助金交付地区：13地区

4 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、京浜河川事務所提供の台風19号にかかる出水概要や都筑区の対応、その他河川内の樹木の伐採や河床（かしょう）の浚渫（しゅんせつ）などの進捗状況等について、書面送付により、情報共有を図りました。

5 補充的避難所活用事業

多数の避難者で避難所のスペースが不足した場合や避難所の機能不能時に代替施設となる補充的避難所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行いました。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から、災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を作成し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発しました。また、感染症予防啓発のため、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを作成し、保育施設や高齢者施設等に配布しました。

- ・冊子「今すぐ取り組む健康づくり～災害時にも役立つ健康づくり～」配布実績
防災救急フェア 2019（9月1日）、区民まつり（11月3日）
感染症パネル展（10月29日～11月5日）、防災講演会（2月20日）等で配布
：配布合計 1,112 冊
- ・消毒液の作り方シール配布実績
感染症対応指導者研修（高齢者施設対象 8月27日）、（幼稚園・保育園対象 8月28日）
感染症パネル展（10月29日～11月5日）
養護教諭部会（小中学校）、地域ケアプラザ、地区センター等で配布
：配布合計 750 枚

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行いました。

- ・地域防災拠点運営委員向け研修会での説明：第2回 6月29日
- ・地域防災拠点訓練での啓発と訓練支援（19拠点訓練に参加）

主な増減	冊子「今すぐ取り組む健康づくり～災害時にも役立つ健康づくり～」の作成委託の契約残
新型コロナウイルス感染症対策による影響	・地域防災拠点訓練の中止（1拠点） ・鶴見川水系水害に関する連絡会資料を書面にて送付

21 危機管理対策推進事業 重点 拡充	R 元予算額	R 元決算額	差引
	973 万 2 千円	1,089 万 8 千円	△116 万 6 千円

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行いました。

- ・災害対策連絡協議会：5月13日 参加機関数 49

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行いました。

- ・地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会：7月1日、参加機関数 7

- ・災害医療連絡会議：8月22日、参加機関数 8

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練等を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図りました。

- ・早淵川水防訓練：6月8日、勝田町町内会エリア、勝田小学校

- 参加者：勝田町町内会、都筑消防団、都筑消防署、横浜建設業協会都筑区会、都筑警察署、都筑区役所、78人

- ・テロを想定した特殊災害対応合同訓練（主催：都筑消防署）

- ：7月17日、センター南駅前すきっぷ広場

- 参加者：横浜市交通局、都筑警察署、昭和大学藤が丘病院、都筑消防団、横浜市消防局（都筑消防署、鶴見消防署）、都筑区役所、65人

- ・災害医療対策訓練：9月21日 都筑区休日急患診療所等

- 参加者：都筑区医師会、昭和大学横浜市北部病院、つづき病院、都筑区薬剤師会、都筑区訪問看護連絡会、横浜市災害支援ナース、都筑区歯科医師会、都筑警察署、都筑消防署、都筑区役所、61人

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図りました。

- ・区災害対策本部運営訓練：9月6日（地震想定） 102人

- 3月4日（地震想定） 52人

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図りました。

- ・洪水ハザードマップの増刷：2,000部

3 区本部体制の維持・管理

- (1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行いました。
- ・避難所開設用資機材（ライト、拡声器等）の整備
- (2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設しました。
- ・防災用スピーカー1基増設（佐江戸公園）：6月1日運用開始

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用しました。

- ・受伝達訓練：6月5日
- ・災害発信：9月8日（台風15号）
避難準備・高齢者等避難開始（即時避難勧告対象区域、鶴見川洪水浸水想定区域（計画規模））
10月12日（台風19号）
避難準備・高齢者等避難開始（即時避難勧告対象区域、鶴見川洪水浸水想定区域（計画規模）、早淵川洪水浸水想定区域（計画規模））
- ・登録者数：136人（平成31年3月31日時点）→143人（令和2年3月31日時点）

主な増減	庁舎内の空きスペースに分散して保管していた、災害医療用資機材（薬品類、医療救護隊備品等）を、一か所にまとめて保管できるように1階福祉保健センター旧検査室の改修をしたことによる委託料の増
新型コロナウイルス感染症対策による影響	感染症対策のため、手指消毒用アルコールを購入

22 安全・安心なまちづくり事業 拡充	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
		972 万 8 千円	952 万 1 千円
<p>1 地域防犯活動推進事業</p> <p>地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯研修会：8月8日、参加者数 74 人 ・助成金交付団体：109 団体、41 台 <p>2 交通安全運動</p> <p>都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施しました。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様を顕彰しました。</p> <p>(2月20日 個人の部9人、団体の部4団体)</p> <p>また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備拡充や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支援：区内小学校 22 校 ・スクールゾーン・防犯対策協議会への支援：24 校 (区内小学校 22 校、新吉田第二小学校、東市ケ尾小学校) ・はまっ子交通安全教室：9 校 (5月～6月 7校、10月～11月 2校) <p>3 放置自転車対策事業</p> <p>自転車等放置禁止区域(センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺)において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置しました。(年間 504 回、延べ 1,008 人)</p>			
主な増減	放置自転車監視業務委託の契約残		

23 食と暮らしの安全推進事業	R 元 予算額	R 元 決算額	差引
		83 万 1 千円	72 万 5 千円
<p>1 食の安全確保事業</p> <p>(1) 食品取扱施設の衛生確保事業</p> <p>横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施しました。特に、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などを対象に食事を提供する社会福祉関連給食施設については、拭取り検査を併用した衛生指導を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拭取り検査を併用した衛生指導：6月、小学校給食施設 22 か所 7月～1月、社会福祉関連給食施設 56 か所 <p>(2) 食の安全に関する情報発信事業</p> <p>食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信しました。</p> <p>イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により、正しい手の洗い方を周知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展：5月～11月、7回、区役所 2階 PR スペース・区民ホール・モザイクモール港北 ・出前講座：4月～9月、11回、参加者数 175 人、食生活等改善推進員・食育ボランティア従事者・社会福祉施設従事者 等 ・手洗い実習：4月～11月、6回、参加者数 386 人、区民・食生活等改善推進員・事業者 <p>2 暮らしの衛生確保事業</p> <p>区民生活における猫・ネズミ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猫侵入防止器の貸出：14 件 ・ねずみ捕獲器の貸出：4 件 ・ハチの巣駆除機器の貸出：26 件 <p>3 動物適正飼育推進事業</p> <p>動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、区民まつり、狂犬病予防注射出張会場において、ペットのマナー及び飼育などに関する啓発を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂犬病予防注射会場での啓発チラシの配布：4月、800 部 ・動物愛護週間イベント：9月 24 日～30 日、区民ホール ・区民まつり会場での啓発：11月 3 日 			
主な増減	監視指導の中止に伴う簡易検査減による検査消耗品購入の減		
新型コロナウイルス感染症対策による影響	感染拡大防止のため社会福祉施設等への監視指導の中止（2月～3月）		

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R元予算額	R元決算額	差引
	重点 拡充 263万9千円	210万8千円	53万1千円

1 緑アップ推進

(1) 緑地の保全及び農地の活用

重点的に保全等に取り組むべき緑地について、様々な制度を活用した保全の推進を図りました。また、地元等と調整し、区内に2か所ある市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みました。

- ・PRパネルの展示：12月5日～11日、区民ホール

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 「つづき みどりと花の名所25選」の実施

区内の「みどりと花の名所」を募集し、区民投票により25の名所を選定する「つづき みどりと花の名所25選」を実施することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会としました。

- ・候補地募集：平成31年1月～令和元年9月
- ・候補地の展示、投票：10月25日～31日、区民ホール
11月3日、都筑区民まつり会場内
- ・結果発表、展示：11月9日、12月5日～11日、区民ホール
12月～、区ホームページ

イ 区の花のPR

都筑区内の市立保育園・小中学校（26校）に区の花「サクラソウ」を配付し、区の花のPRを行うとともに、ふるさと意識を醸成しました。

ウ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みました。

また、HRGの魅力アップにつながるイベント、担い手の負荷軽減等につながる委託を実施しました。

- ・花摘み・タネだんご作りイベント：5月4日、参加者数22人
- ・中川ふれあいフェスタにおけるパネル展示によるPR：5月25日、中川駅前みんなの広場
- ・造園整備（草刈等）委託：7月25日、9月26日

2 散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップを活用して、都筑区の環境資源の魅力を市民に伝えました。また、散策マップの更新に向けた情報収集を行いました。

主な増減	早渕川・老馬谷ガーデンの草刈委託等における契約残
------	--------------------------

25	ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会等活動推進事業 重点 拡充	R元予算額	R元決算額	差引
		423万円	392万5千円	30万5千円

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（44団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供したほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供しました。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展を開催しました。

さらに、外部アドバイザーを招き、専門的な活動支援を行いました。

- ・道路ふれあい月間での活動PR（道の日イベント）：8月3日、区総合庁舎前ほか
- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール、参加団体数27団体
- ・外部アドバイザーの活動支援（「雑草に負けない美しい緑の道づくり講座」の開催）：6月2日、9月6日、北山田四丁目現地、参加者数約20人

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152団体）及び水辺愛護会（3団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施しました。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えたほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供しました。

- ・公園愛護会総会：6月29日、区役所食堂
- ・パネル展：7月2日～9日、区民ホール、参加団体数27団体

3 都筑^{りょくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催しました。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援しました。

- ・ナチュラルガーデン講座：5月21日～2月25日、5回、東方公園ほか、参加者数26人
 - 第1回 5月21日 多年草を利用した園芸手法の特徴について講義
 - 第2回 8月20日 都心臨海部の先進事例の見学と手入れ手法について講義
 - 第3回 10月8日 東方公園等を散策し、野生の草本状況や生育環境について講義
 - 第4回 11月19日 植物の特性・管理の難易度などを検討し、草花の組合せについて講義
 - 第5回 2月25日 地ごしらえ、土づくり、植栽の一連の作業について現地で実習

4 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に取り組んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを作成し、公園愛護会等と連携しながら配布しました。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載しました。

- ・案内カードの配布開始：8月1日

主な増減	物品や飲料の配布要望数に応じた消耗品費の減
------	-----------------------

26 環境にやさしいまち推進事業	R元予算額	R元決算額	差引
	171万4千円	154万7千円	16万7千円

1 温暖化対策推進事業

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車、燃料電池自動車）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施しました。

- ・地域の夏祭り：7月27日、荏田東第一小学校
- ・区民まつり：11月3日

(2) つづきエコ活啓発

区民の皆様一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、普及啓発イベントを東京都市大学と連携して開催しました。

- ・親子で楽しむ環境アドベンチャー：9月29日、区役所6階大会議室

(3) 緑のカーテン事業

区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小・中学校（9校）への育成支援を行いました。

2 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援などを行いました。

- ・清掃ごみ袋の配付による地域清掃の支援：86団体
- ・ポイ捨て防止啓発：8月3日：区庁舎周辺

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、ごみの分別の徹底や食品ロス削減のための啓発物品を作成し、イベントでPRするほか、赤ちゃん会での啓発、小学校等を対象としたリユース図書の配付などを行いました。

- ・区民まつりごみステーション分別啓発：11月3日：7か所
- ・つづき3R夢週間パネル展、リユース家具抽選イベント
：5月24日～28日、8月23日～27日
- ・赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～2月：9会場
- ・リユース図書の配付：9月～11月1,156冊、区内小学校17校：940冊、区内保育施設38施設216冊)

3 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢の推進に関する情報を共有する会議を行いました。（5月22日、被表彰者数3団体、8個人）

主な増減	プラスチック対策に伴う啓発物品精査による減
------	-----------------------

温暖化対策プラス事業

市立保育所における温暖化対策啓発事業 新規	R元予算額	R元決算額	差引
	806万1千円	763万3千円	42万8千円

1 フラクタル日除け等の設置

温暖化対策のモデル園として、区内市立保育所2園（みどり保育園・中川西保育園）にフラクタル日除けを設置することにより、温暖化防止に寄与する暑さ対策を行い、設置・導入の効果を検証しました。

- ・設置：7月29日、みどり保育園
7月30日、中川西保育園
- ・導入効果検証：8月1日～19日の間の晴天日にデータ計測
(地表表面温度 最大26.2℃低下(日なた 61.4℃→日除け下 35.2℃)、
下方向からの赤外線放射量 日除け下では、日なたから最大16%低下)
また、区内市立保育所5園全園にミスト発生機等を配備しました。

2 子育て世代に向けた温暖化対策の啓発

市立保育所で平日に毎日実施している園庭開放「おひさま広場」(令和元年度約1万3千人参加)や、市立保育所周辺の民間保育所との交流の場などにおいて、上記フラクタル日除けの利用や温暖化対策グッズ(ネッククーラー)の配布等により、市立保育園に通う園児だけでなく、周辺地域や他園に通う子育て世代と子どもたちを対象とした温暖化対策の啓発を行いました。

(温暖化対策グッズ配布：5園計1,500個)



中川西保育園



みどり保育園における効果検証のための測定

主な増減	フラクタル日除け設置業務委託にかかる入札残
------	-----------------------



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン

令和 2 年度
都筑区自主企画事業の
執行状況について

令和 2 年 9 月 7 日
都 筑 区

目 次

令和2年度 都筑区自主企画事業説明書

自主企画事業費

施策1 つながりと協働を育むまち

- | | | | | |
|---|---------------------------|-----------|----|----|
| 1 | まちづくり総合調整事業 | 重点 | 拡充 | 1 |
| 2 | 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業 | 重点 | 拡充 | 2 |
| 3 | 地域支援の種（たね）事業 | 重点 | 新規 | 4 |
| 4 | 区役所改善推進事業 | 拡充 | | 5 |
| 5 | 自治会・町内会支援事業 | 拡充 | | 6 |
| 6 | 広報・広聴事業 | 拡充 | | 7 |
| 7 | つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習支援事業） | | | 8 |
| 8 | 地域de育む青少年事業（青少年健全育成事業） | | | 10 |

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

- | | | | | |
|----|--------------------------|-----------|----|----|
| 9 | 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業 | 重点 | 拡充 | 11 |
| 10 | つづき健康づくりサポート事業 | 重点 | 拡充 | 13 |
| 11 | 保育所を拠点とした地域子育て支援事業 | | | 15 |
| 12 | 地域で支える高齢者支援事業 | | | 16 |
| 13 | 障害者交流啓発事業 | | | 17 |

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

- | | | | | |
|----|------------------------|-----------|----|----|
| 14 | メイドインつづき推進事業 | 重点 | 拡充 | 18 |
| 15 | 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業 | 重点 | 拡充 | 19 |
| 16 | 文化活動支援・スポーツ振興事業 | | | 20 |
| 17 | 街のにぎわいづくり事業 | | | 21 |
| 18 | 都筑 国際交流プログラム | | | 22 |
| 19 | 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 | | | 23 |

施策4 安全・安心なまち

- | | | | | |
|----|-------------------|-----------|----|----|
| 20 | 災害にそなえる自助・共助の推進事業 | 重点 | 拡充 | 24 |
| 21 | 安全・安心なまちづくり事業 | | | 26 |
| 22 | 危機管理対策推進事業 | | | 27 |
| 23 | 食と暮らしの安全推進事業 | 拡充 | | 29 |

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

- | | | | | |
|----|----------------------------|-----------|----|----|
| 24 | ハマロード・林-ター、公園・緑道愛護会等活動推進事業 | 重点 | 拡充 | 30 |
| 25 | 環境にやさしいまち推進事業 | 拡充 | | 32 |
| 26 | つづき水と緑の魅力アップ推進事業 | | | 34 |

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規は**新規**、と表記しています。

施策1 つながりと協働を育むまち

1 まちづくり総合調整事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		499 万 5 千円	627 万 9 千円

まちづくりに関する区民の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

(1) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）、学生による地域についての研究発表会（地域連携調査研究発表会）等を行います。

また、留学生が地域に入るきっかけづくりとして、出身国・出身地域の暮らしや環境を紹介する「都市大留学生カフェ」を開催します。

(2) その他企業との連携

企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）を行います。

2 まちの課題解決

横浜市生活交通バス路線（318 系統）の周知用ポスターをバス車内や自治会町内会の掲示板に掲示するなど、利用促進 PR の取組を進めます。

3 都筑区民文化センター（仮称）機運醸成事業

令和 5 年度に予定されている、都筑区民文化センター（仮称）の開館に向けた機運を高めるため、施設等の利用に関連したアイデアミーティングを実施します。

4 地域まちづくり推進

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) 都筑区民文化センター（仮称）整備に関連したまちづくりに関する取組

都筑区民文化センター（仮称）整備予定地周辺の交通量に関する調査を実施します。

2 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		584 万 2 千円	338 万円

福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

1 第4期計画策定

人のつながりを実感し安心して暮らせる地域づくりを目指し、区民、事業者、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等が福祉保健などの地域の課題解決に協働して取り組み、身近な地域の支えあいの仕組みづくりを進めることを目的として、第4期都筑区地域福祉保健計画（計画期間令和3～7年度）を策定します。

2 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、第3期計画の推進や第4期計画策定に向けた、学識経験者や区民による意見交換の場とします。

また、あわせて地域福祉保健計画推進のために子ども・青少年分野、高齢者分野、障害者分野及び健康づくり分野における意見交換を行う場を開催し、地域の取組を支援します。

- ・令和2年度第1回都筑区地域福祉保健計画推進委員会：6月11日

3 地域懇談会の開催

第3期計画推進や第4期計画策定に向けて地域での課題共有・解決を促進するため、全ての連合自治会町内会・地区社会福祉協議会エリアで地域懇談会を開催します。

- ・地域懇談会：1地区（新栄早湊地区）、参加者数 26人

4 必要な人に支援が届く仕組みづくりの検討・支えあい連絡会の開催

各地域の支えあい連絡会を活用し、「必要な人に支援が届く仕組みづくり」について検討を進めます。また、(仮称)都田地域ケアプラザの整備に向けて、庁内連携を進め、取り組みます。

5 地域福祉保健活動補助金

地域での活動や取組の支援を進めるため、「つづき あい基金」への補助を行います。

6 地域福祉保健計画推進体制強化事業

第4期計画策定に向けて、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、職員を対象とした研修を実施します。

7 計画情報誌の発行

各地域での地域福祉保健計画を推進する取組を掲載した情報誌「つづき あい通信」を発行し、情報共有の一助とします。

- ・「つづき あい通信」：7月発行、8,000部

8 発表会の開催

計画推進のための各地区の活動や取組を共有する場として、「つづき あいフォーラム」とパネル展を開催します。

- ・つづき あいフォーラム：令和3年2月20日（土）都筑公会堂
- ・パネル展：令和3年2月18日（木）～24日（水） 区民ホール

3 地域支援の種（たね）事業 重点 新規	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	101万8千円	0円	101万8千円

都筑区内の地域社会は自治会町内会を中心に、地区社会福祉協議会や学校、各種の委嘱委員など、多種多様な関係者によってその運営が担われており、都筑区役所も平成23年度から開始した地区担当制を通じ、地域との顔の見える関係を築いてきました。

第4期都筑区地域福祉保健計画の策定も視野に、地域課題の解決を支援するため、未来にむけた地域支援の種（たね）を蒔くことで、地域運営の持続可能性を高めます。

1 地区カレンダーの発行

新型コロナウイルス感染症の影響で多くの地域のイベントが中止となっていることから今年度の地区カレンダーの発行を見送り、次年度に向けた対応策を検討します。

2 グループウェアの導入支援

地区連合自治会が利用できるグループウェアの導入をモデル的に支援し、地域活動の活性化や会議の円滑化、自治会町内会役員の負担軽減を図ります。

グループウェアの導入に向けては市内企業との連携のもと、1～2地区連合自治会への導入を11月以降に開始する予定です。

3 地域の諸課題に応じた支援

災害時の避難体制や区内在住の外国人支援など、個別の地域課題の解決につながるような支援を柔軟に展開し、地域支援の強化につなげます。

- ・「防災体験プログラムマニュアルBOOK」の配付（7月、対象：15地区連合自治会）
- ・区内在住ドイツ人に向けた、イベントや魅力資源を紹介したドイツ語リーフレットの発行（9月、1,000部発行）

4 区役所改善推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		1,168万3千円	1,369万円

区民満足度の向上のため、来庁者の方が利用しやすい窓口サービスを提供する等、様々な取組を推進します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を、改革推進委員会等で検討のうえ、実施します。(8月～3月)
- (2) 人権意識の向上を目的として、人権啓発講演会を実施します。(12月)
- (3) 来庁者の方が利用しやすい窓口サービスの実現のため、音声翻訳機及び会話の内容が第三者に漏れることを防ぐ音響発生装置を試行的に導入しました。(6月、7月)

2 区庁舎等環境改善

区民ニーズに対応した区庁舎等の環境改善を行います。
戸籍課・保険年金課待合スペース照明のLED化を行いました。(7月)

3 税理士等派遣事業

確定申告の時期(2月16日～3月15日)に、専門知識のある税理士等の協力を得て、確定申告(医療費控除の還付申告)に係る作成支援と受付を区民に身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

窓口の丁寧なご案内と業務の効率化のため、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間：8時45分～17時)

また、区役所を利用するお子さま連れのお客様が安心して相談できる環境づくりを進めるため、一時託児を実施します。(実施時間：9時30分～15時30分)

- ・一時託児：令和2年3月から休止中

5 自治会・町内会支援事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		401 万 6 千円	342 万 9 千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。あわせて、地域のつながりに資する取組や自治会町内会への加入を促します。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。（3月17日）

2 自治会町内会への情報提供

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

4月、5月の区連会は新型コロナウイルスの影響で中止しました。

3 自治会町内会加入促進

地域活動を促すため、自治会町内会への加入促進を連合町内会等と連携しながら行います。

- ・転入手続時の加入促進リーフレットの配布
- ・区内各駅や施設等での加入促進リーフレットの配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した加入促進リーフレットの配布
- ・連合町内会等と連携した加入の呼びかけ
- ・自治会町内会会長の人となりや活動の様子を紹介する冊子を配布

6 広報・広聴事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	195 万 5 千円	191 万円	4 万 5 千円

区民に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また、広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 ガイドブック発行事業

転入者向けに隔年で発行し配布していた「Garden×都筑区役所」の内容及び配布対象を見直し、新たに区民向けのガイドブックを発行します。

2 PRボックスの活用

毎月1日に全駅のPRボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示するほか、毎月10日には広報印刷物の補充等を行い、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

3 インターネット広報

区ホームページにおけるオープンデータの提供や若年層に向けたTwitter等での情報発信を行います。

4 広報研修の実施

効果的な広報を通じて区の活動方針や施策に対する区民の理解を深めるため、各事業の広報に携わる職員を対象に広報研修を実施します。新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、集合型の研修に代えて広報紙面づくり等に役立つ研修資料を配信します。

5 主要事業説明等周知、地域における意見交換会

様々な機会を通じて区民の皆様からご提案やご意見をいただき、区行政に反映させます。

(1) 主要事業説明等周知

主要事業に関する周知を各地区連合自治会町内会単位で行うとともに、区内主要事業の広報区版6月号への掲載や、区民ホールでのパネル展示でも周知を行いました。

- ・主要事業等説明会：5月24日～7月28日、15地区連合自治会町内会
- ・パネル展示：6月23日～29日、区民ホール

(2) 地域における意見交換会

地域課題について共通の理解を深め、解決に向けた検討を行います。

- ・地域のつどい：住民相互の話し合いや行政との意見交換会
 - ・区長の気軽にトーク：地域で活動している団体と区長との意見交換会
- 5月：つづきジュニア編集局（オンラインで開催）

7 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習支援事業)	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	284 万 4 千円	273 万 2 千円	11 万 2 千円

市民活動・生涯学習支援として、活動のきっかけづくり、活動の支援、市民団体の育成を図ります。また、市民活動の担い手や施設の連携・交流が更に進むように取り組みます。

1 はじめる（個人支援）

(1) 大人の学級

個人の学びを地域活動へ繋げることを目的としてオンラインを活用した講座を開催しています。(7月～12月、全6回)

(2) ボランティアベース都筑

ボランティア活動の促進をテーマにサロンを開催します。(10月～毎月開催)(4～9月まで休止)

(3) 輝く女性応援プロジェクト

「女性が住みやすく、活躍できるまち」を目的に、オンラインを活用して女性たちによるネットワークづくりの講座やイベントを開催します。(10月～11月、3月)

(4) 広報紙 きっかけマガジン「つづき“縁”ジン」の発行

市民活動・生涯学習の普及を目的として広報紙を発行しています。市民ライターが一部原稿を執筆します。(新型コロナウイルス感染症の影響により年4回発行を3回に変更。8月、1月、3月)

(5) つながりカフェ

個人が市民活動を始めるためのきっかけづくりや市民団体間の交流を目的として、市民活動に関する交流会を開催します。(12月・2月、区民活動センター)(5・7・9月休止)

2 ささえる（活動支援）

(1) 区民活動補助金

公益性が高く地域課題の解決に繋がる市民団体の事業に補助金を交付します。(5団体)

(2) 縁ジンミーティング

オンラインを活用して市民団体のスキルアップを図る講座や登録団体の交流会を開催しています。(8月28日、10月8日、12月、2月)

(3) 区民活動センター利用促進事業

- ・オンライン講座の環境整備を実施しました。(7月)
- ・新規利用者を獲得するために夜間時間帯の講座を開催しています。(大人の学級講座、7月～12月、6回)

(4) 市民活動・生涯学習合同成果発表会

区民活動補助金交付団体等の成果発表会を開催し、団体間の交流を図ります。(3月)

3 つながる（連携、交流）

（1）区内の区民利用施設情報交換会

区内施設のネットワーク強化を図り、地域人材の発掘・育成を進めました。（7月1日、21施設、31人）

（2）つづき^{びと}人交流フェスタ

区内の市民活動団体等による活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。（3月）

8 地域 de 育む青少年事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	85 万円	104 万 2 千円	△19 万 2 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年支援者育成講座

青少年指導員をはじめとする青少年支援に関わる活動団体等を対象に、課題の共有やスキルアップ、情報交換等を目的とした講座や研修を開催します。

※6月の講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

2 はあと de ボランティア

(1) はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施しました。また、施設や団体と連携して、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場を提供しました。

(申込者数 129 人、体験先 9 プログラム)

(2) はあと de ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

より早い段階からの意識づけや異世代間交流を促進するため、中・高校生向け事業と連携し、小学生向け事業を実施しました。小学校 5・6 年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、社会性や自主性を身に付け、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供しました。

(申込者数 31 人、体験先 8 プログラム)

(1) (2) 共通のスケジュール

- ・オリエンテーション：7月17日～24日、全8回、都筑区役所6階大会議室、日々輝学園
 - ・ボランティア体験：7月25日～8月15日、区内各所（区内町内会、ボランティア団体、区民利用施設 等）
 - ・振り返り・修了証授与：8月15日～27日、都筑区役所6階大会議室、日々輝学園
- ※屋外での活動が中心の体験プログラムとし、規模を縮小して実施

3 つづきウォーク&フェスタ

11月実施予定の「つづきウォーク&フェスタ」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しますが、区民ホールを使った展示を中心とした、青少年の文化活動の発表の場の提供等を検討しています。

施策2 いきいきと健やかに暮らせるまち

9 妊娠期から学齢期までの 切れ目のない子育て支援事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		922 万 9 千円	919 万 3 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や夫（パートナー）が参加しやすいように、土曜日半日コースの両親教室を、区役所会場（4回）と地域子育て支援拠点 Popola（以下ポポラ）（4回）で実施します。

- ・区役所会場：（5月中止）、7月11日24組、9月26日、11月28日、2月27日
- ・ポポラ会場：6月27日8組、7月4日（4月分として実施）8組、10月24日、1月23日

また、「マタニティさんの赤ちゃんとの生活プチ体験」をポポラに委託し実施します。

都筑区の先輩ママから「妊娠中のママへの応援メッセージ」を集め、母子手帳交付時に配布している「妊娠マイカレンダー」に印刷し、全妊婦に配布します。

2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室を区内14会場で開催し、仲間づくりや育児相談をします。参加対象を第2子以降の0歳児にも広げます。

- ・4月から6月末まで休止、7月から13会場で再開

3 外遊び広め隊事業

地域の外遊び団体や乳幼児の親子が継続的・自主的に外遊びを実施できるよう支援するため、地域で外遊びを実施している団体等を対象にした情報交換会（外遊び連絡会）を実施します。また、乳幼児の保護者や地域の人を対象に、外遊びの大切さを伝える「外遊び体験会」を区内の公園で開催します（10～11月にかけて3会場で実施）。

4 子育てネットワーク事業

ポポラや区社会福祉協議会、地域ケアプラザと協力して、関係機関の情報・意見交換・研修（子育てネットワーク会議）及び子育て支援の団体・関係者の交流会（子育てネットワーク交流会）を実施し、区内で活動している子育て支援関係者・関係団体の関係づくり、知識技術の向上、課題共有や解決を図ります。

- ・子育てネットワーク会議：（第1回）9月4日（第2回）2月末
- ・子育てネットワーク交流会：12月7日

5 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える保護者に対して、心理士が育児に対する悩みなどへ助言を行います。また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を開催します。

- ・7月20日参加者数32人、12月4日

6 虐待等相談及び養育支援事業

児童虐待を予防するため、養育にうまく対応できていない保護者に対して、訪問員や相談員が継続的な養育支援を行います。

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小学生等を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。

- ・池辺連合自治会館：参加児童数延べ23人 8月末時点（4月から6月第2週まで中止）

8 学齢期保護者のネットワークづくり支援事業

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するため、講演動画の配信や放課後児童育成事業の紹介を行い、あわせて、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の紙面による情報交換の場を設けます。

- ・小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～
(動画配信期間：9月18日～10月18日)

9 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学6年生を対象に、助産師や保健師による講義と保護者による詩集の朗読を通して、子どもの健やかな成長を願う保護者の気持ちや命の尊さを知り、自分や周りの人を大切にすることを育むため、学校や保護者等と協力して命の授業を区内の全市立小学校(22校)で実施します。あわせて講義内容をまとめた冊子を作成し、全校へ配布します。(9月～3月)

10 赤ちゃんふれあい体験事業

乳幼児との触れ合いを通して、命の尊さを実感し、保護者への感謝の気持ちや子育てに対する意識を醸成するため、学校や地域の協力を得て、区内の全市立中学校(8校)の生徒を対象に実施予定でしたが、中学校の夏季休業の短縮及び新型コロナウイルス感染症予防のため中止しました。

11 区民による子育てマップの作成(つづきチルコロMAP)

子育て中の区民がもつ外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ(つづきチルコロMAP)をポポラと協働して更新し、発行します。(3月、12,000部)

10 つづき健康づくりサポート事業 (都筑区健康アクション!) 重点 拡充	R2 予算額	R 元予算額	増△減
		267 万 9 千円	263 万円

様々な年代の区民に対し、健康づくりの一環である運動習慣の定着を図るため、新たに運動に関する講座及びイベントを実施します。また、引き続き庁内連携を進めるとともに、関係団体や企業と協働し、生活習慣病及びがんの予防、食育の推進など総合的に啓発活動を行います。

1 生活習慣病・がん予防啓発事業

健康寿命に影響を与える生活習慣病や死因の第1位を占めるがんについての正しい知識や情報を発信し、その予防方法についての啓発に取り組むとともに、特定健診・がん検診受診を勧奨します。

なお、区民の運動習慣の定着を図るため、地域で健康づくりに携わる方を対象とした講座を10月に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止します。

- ・生活習慣病予防、運動啓発パネル展：10月1日～15日、区民ホール
- ・大腸がんトイレットペーパーを活用したがん啓発：月2回、区役所内トイレ
- ・3歳児健診保護者を対象とした乳がん啓発：月2回
4月9日から5月29日まで乳幼児健診中止のため未実施
乳がん啓発は7月から再開（個別指導 18人）
- ・がん検診啓発巡回パネル展：9月～10月 地域ケアプラザ5か所

2 食育推進事業

食育は生涯にわたるすべての世代に応じた中断のない大切なものです。特に、都筑区は15歳未満の人口割合が高いという特徴をとらえ、子どもたちとその保護者が将来にわたり健全な食生活を送ることができるようになることを目指します。

なお、6月27日に開催を予定していた「食育・健康フェア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止しました。

- ・子育て支援事業会場における乳幼児向けの食事相談：区内11か所、延べ22回
- ・食育情報交換会：年2回（第1回 7月10日 34施設 41人
第2回 12月）
- ・ホームページを活用した食育、健康に関する啓発

3 地域の健康づくり応援事業

保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や合同の研修会を行うことにより、各推進員の地域の健康づくり活動への意欲向上を図るとともに、区民の健康づくりに取り組む意識をより一層醸成します。

4 都筑区健康アクション事業

区民を対象とした健康体操イベントを実施し、日頃、運動習慣が無い方でも気軽に実践できる内容で、健康へ関心を持ってもらうきっかけを作ります。

また、引き続き「つづき つづける 健康づくり」のスローガンを広く伝えることで、健康アクションとして区役所が一丸となって取り組んでいることを区民に周知します。

- ・健康体操イベント：年2回（ほいくえん広場 11月12日、11月17日）

5 健康づくり環境整備

国民健康保険の被保険者をはじめとする区民が健康づくりに関心を持てるよう、平成29年度から庁内において取り組んでいるストレッチ映像の放映や健康づくり文庫設置等を引き続き実施していきます。（健康づくり文庫は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月下旬から休止）

11 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	343 万 5 千円	333 万 3 千円	10 万 2 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力者を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら、育児相談などができるようにします。

- ・ 8 月末日時点 実施回数 155 回、利用者数延べ 1,561 人、協力者数延べ 246 人
（令和 2 年 3 月 2 日～7 月 14 日休止）

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放します。

- ・ 令和 2 年 3 月から休止中。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が、食事のとらせ方や作り方について保護者へ助言します。

- ・ 令和 2 年 3 月から休止中。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいよう、地域ごとに実施します。

- ・ A エリア（東山田周辺）：9 月 4 日 中止
（仲町台周辺）：11 月 12 日 せせらぎ公園
- ・ B エリア（中川・北山田周辺）：11 月 10 日 滝ヶ谷公園
- ・ C エリア（茅ヶ崎周辺）：11 月 17 日 都筑中央公園ステージ広場
- ・ D エリア（池辺町、川和町周辺）：10 月 12 日 都田小学校コミュニティハウス
10 月 14 日 みどり保育園

5 積木交流

市立保育所にある合計 2 万個の積木を使い、「積木の都筑」として、積木遊びを通じた育児支援を広めていきます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市立保育所・民間保育所職員等が積木遊びの作品を制作する過程を撮影し、区役所内モニターでの上映や、区ホームページでの公開等を行う形で実施します。

- ・ 10 月 15 日 区民ホール

12 地域で支える高齢者支援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	82万8千円	124万2千円	△41万4千円

高齢者が住み慣れた地域で、その心身の状態に応じて自立意欲を保ち、互いに支え合い、安心して暮らし続けることができるまち“都筑”の実現を目指します。そのために認知症に対する正しい理解や介護予防の普及啓発を促進するとともに、地域で主体的に取り組む支援者を育成します。

1 認知症普及啓発事業

(1) 動画で配信「認知症フォーラム」

「新しい生活様式の中でも、認知症になってからも暮らしやすいまちづくり」をテーマに、「認知症フォーラム」を開催します。今年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、都筑区ホームページにて、講演内容の動画配信・資料配信を行います。また、区役所等で講演内容の資料配布を行うと共に、動画のDVDの貸出を行います。

配信期間：9月18日～12月28日

(2) サポート連絡会

地域の方や認知症に関わる団体等が集まり、認知症普及啓発活動の企画や課題検討、各グループの活動に関する情報交換を行います。

・認知症サポート連絡会：毎月開催（4月・5月休会、6月から再開）

2 認知症人材育成事業

認知症に関する知識を習得し、地域での普及啓発等の活動に携わる人材を育成するための講座を実施します。（2月）

3 福祉保健情報提供事業

(1) 福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営

チラシ、パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、来庁者の案内誘導等を行います。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、サポートスタッフの配置を休止しました。（5月1日～6月30日）

(2) 高齢者向け情報提供資料の作成・発行

認知症や介護に関する相談窓口や高齢者が気軽に参加できる通いの場等をまとめ、転入高齢者に向けたリーフレットを作成し、窓口等で配布します。（3月）

13 障害者交流啓発事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	115万2千円	147万円	△31万8千円

障害者と地域住民との共生社会を目指し、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する福祉農園事業、障害者地域啓発事業、障害者施設支援事業を実施します。

1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。

- ・芋ほりイベント：新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、区民の参加は中止。収穫は、JA 青壮年部と実行委員を中心にを行い、芋は障害児・者団体に配布。
- ・～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ：障害者週間にあわせた区内事業所紹介のパネル展、障がいのある子とそのご家族の写真展（12月5日～9日、区民ホール）

2 障害者地域啓発事業

(1) 区民まつり福祉バザー

地域住民が参加する区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を予定していましたが、区民まつりの中止に伴い、中止とします。

(2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援

障害のある方が、地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

- ・障害者グループホームに対し、地域防災拠点訓練の日程連絡及び参加推奨（障害者グループホーム数 80 か所）

3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害施設が自主製品の販売活動を実施しています。この活動について、区民への周知を支援します。

なお、商業施設の販売については、新型コロナウイルス感染症拡大状況に応じて実施します。

施策3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

14 メイドインつづき推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		597 万円	436 万 9 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

1 展示会出展等支援

神奈川県内最大級の工業技術・製品の総合見本市である「テクニカルショウヨコハマ」への出展支援を行うほか、都筑区ブース専属コーディネーターの配置、企業紹介冊子の作成等を行い、中小製造業の販路拡大を推進します。

2 地産地消の推進

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催（概ね月2回）やイベント開催、都筑野菜マルシェセット（のぼり旗、エプロン、簡易テント、テーブル、野菜結束テープ）の貸し出し、リーフレットやステッカーなどのPRツールを活用した都筑野菜のPRなど、地産地消の取組を支援します。

また、区内小学校への地産地消に係る出張授業や、広報よこはま都筑区版でのPRを行うとともに、都筑野菜を楽しむための料理教室を開催します。

3 メイドインつづき推進事業PRの実施

区内企業と連携し、子どもたちがものづくりを体験できるイベントを実施し、区内企業の活動紹介や地域の中小製造業の魅力の発信を行いました。

- ・おうちでものづくり体験：7月30日～8月5日、区民ホール
御家庭でものづくりを体験できるよう企業から提供していただいた廃材を配布
（メイドインつづき企業42社を紹介するパネル展も同時開催）
- ・動画で工場見学！：7月30日から区HPで動画公開
工場内部の様子の動画を公開

15 未来につなぐ オリンピック・パラリンピック事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
<div style="text-align: right; margin-right: 20px;"> 重点 拡充 </div>	91 万円	90 万 5 千円	5 千円
<p>東京 2020 オリンピック・パラリンピックの次年度開催に向けて、引き続き機運醸成を図ります。また、横浜市が都筑区とつながりの深いボツワナ共和国のホストタウンであるため、「ホストタウン」としての取組を通じて、区民の関心向上を図ります。</p> <p>1 区民利用施設等と連携した巡回パネル展の開催</p> <p>東京 2020 大会の機運醸成を図るため、ボツワナ共和国の理解の促進や応援する内容を含むオリンピック・パラリンピックに関するパネル展を、区民利用施設等を巡回して実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展の実施：7月21日～27日、区民ホール <li style="padding-left: 40px;">9月以降に地区センター等区民利用施設を巡回 <p>2 区内商店街等と連携した東京 2020 大会関連装飾の実施</p> <p>のぼり旗や懸垂幕等の装飾を作成し、区内商店街や区民利用施設等と連携して、東京 2020 大会関連装飾を区内で展開します。(10 月以降)</p> <p>3 パラスポーツ関連イベントの開催</p> <p>東京 2020 大会の機運醸成やパラスポーツ普及のため、パラスポーツに関する講演会や体験イベントを開催します。(12 月)</p>			

16 文化活動支援・スポーツ振興事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	206 万 9 千円	196 万 9 千円	10 万円

区民の皆様の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の皆様の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。

- ・ボランティアスタッフ、キャッチフレーズ募集：4月
キャッチフレーズ「笑顔が輝く 未来の都筑」
- ・ポスターデザイン画募集：7月～9月上旬
- ・参加者募集：9月～10月下旬
- ・第25回都筑区民文化祭：1月23日～2月7日

2 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会に対し補助を行うとともに、各種目別の区民大会の開催支援を行います。

3 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

区民の皆様のスポーツ振興と健康増進、異世代交流を図るため、都筑ふれあい健康マラソン大会の開催について検討しましたが、従来の実施方法での開催は困難であるため、新たなランニングイベントについて検討を進めています。

4 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。

5 地域の読書活動推進事業

第2期「都筑区読書活動推進目標」（令和元年度改定）に基づき読書活動を推進します。

17 街のにぎわいづくり事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	548 万円	620 万 5 千円	△72 万 5 千円

区民の皆様のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

「第 26 回都筑区民まつり」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止しますが、過去の区民まつりの写真や動画等のホームページ掲載を検討しています。

2 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会とともに商店街の魅力を区民の皆様に伝える取組を行います。

また、プロスポーツチーム等、都筑区の魅力的な資源と連携することで、効果的に区民の皆様と区内商店街とのつながりの創出を図ります。

なお、商店街からのラブレター事業の景品として、横浜ビー・コルセアーズ関連グッズのプレゼントや、区民ホールにて各商店街を紹介するパネル展を開催しました。

- ・都筑区商店街魅力発信ワーキング：4～6月休止、7月14日
- ・都筑区商店街紹介パネル展：7月16日～22日、区民ホール

3 都筑・ドイツ交流イベント事業

12月実施予定の「ドイツクリスマスマーケット in 都筑」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止します。代替案としてステージのオンライン開催や、クリスマスマーケット関連の展示、専用ホームページ開設等を検討しています。

18 都筑 国際交流プログラム	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	140 万円	155 万円	△15 万円

区内在住の外国人の皆様が安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。
また、ボツワナ共和国などアフリカとの交流を発展的に継続していきます。

都筑多文化・青少年交流プラザ事業

外国人への情報提供や多文化交流、青少年の地域活動及び区民活動の場を提供するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ(つづきMYプラザ)」に以下の事業の運営を委託します。

1 国際交流・外国人支援事業(国際理解教室、第7回都筑・ボツワナ交流児童画展など)

外国人のための生活情報提供や外国人支援ボランティアの養成を行います。

また、国際理解の促進のためのイベントや、ボツワナ共和国をはじめとするアフリカとの交流事業を実施します。

・国際理解教室(ボツワナ大使ビデオメッセージ等): 7月10日、茅ヶ崎小学校

2 市民活動支援

日本語ボランティアなどの市民活動団体やグループ等へ活動場所を提供します。

19 横浜ビー・コルセアーズ応援事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	60 万円	60 万円	0 万円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、都筑区の三者で「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しました。この協定に基づき、横浜ビー・コルセアーズのPR活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 地元応援イベントの実施

地域の皆様と連携し、横浜ビー・コルセアーズを応援する企画を実施するとともに、横浜ビー・コルセアーズの選手を交えたバスケットボール教室などを通じて、地元ファン層の拡大を図ります。

- ・都筑区内中学校バスケットボール部3年生交流試合への参加：8月2日、東山田中学校・中川中学校体育館
- ・横浜ビー・コルセアーズ開幕初戦（10月3日）カウントダウンボード：8月～10月、区民ホール
- ・パネル展：9月23日～30日、区民ホール
- ・広報よこはま都筑区版での紹介：12月

2 都筑区応援dayの実施

横浜ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、地域の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援dayを実施します。

3 商店街との連携支援

横浜ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引き続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

施策4 安全・安心なまち

20 災害にそなえる 自助・共助の推進事業 重点 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		462万3千円	328万8千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。

- ・地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月29日書面開催
- ・地域防災拠点運営委員向け研修会：第1回 6月28日（大雨により中止）
：第2回 7月5日 参加者数21人
：第3回 1月

2 地域防災拠点の通信機器等の整備

災害発生時における情報通信基盤として、区本部と各地域防災拠点との通信を確保するため、各地域防災拠点に配備しているアマチュア無線機器等について、総務省の無線設備規則の改正に対応するため、更新が必要な27台のうち、令和2年度は9台の更新を進めます。

3 防災・減災講演会、出前講座及び自治会町内会向け研修会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて区民や自治会町内会等を対象とした講演会等を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

4 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行われるよう、また、地域での要援護者支援活動がより多くの対象者に行き届くよう、希望する地域に対して災害時要援護者名簿の提供を行うほか、連合自治会町内会に対し、補助金の交付を行うなど、地域の実情に合った支援を行います。

- ・補助金申請地区：11 地区

5 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から作成した災害時にも役立つ「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子を活用し、様々な機会をとらえて平常時からの備えについて啓発します。また、感染症予防啓発のため作成した、ペットボトルを利用した適正な濃度の消毒液の作り方シールを保育施設や高齢者施設等に配布し、感染症防止を図ります。

- ・災害時にも役立つ冊子（15,000部）
班回覧、地域防災拠点、乳幼児健康診査等で配布
- ・消毒液の作り方シール（1,000枚）
感染症対応指導者研修（高齢者施設及び保育施設職員対象）、
感染症パネル展（10月29日～11月4日）で配布

7 災害時のペット対策事業

各地域防災拠点訓練等で、「災害時のペット対策」についての啓発・支援を行います。

また、災害時に想定される動物救援病院の活動に備え、獣医師会加盟病院へ、活動を広報するのぼり旗を配付します。

- ・地域防災拠点運営委員向け研修会での説明：第2回 7月5日

21 安全・安心なまちづくり事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	978 万 2 千円	972 万 8 千円	5 万 4 千円

交通安全啓発・スクールゾーン協議会支援等交通安全運動、及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の安全で安心なくらしを実現するため、防犯活動を支援します。

1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察、土木事務所と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

- ・はまっ子交通あんぜん教室：6校（9月 1校、11月 1校、調整中 4校）

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

- ・防犯研修会：8月20日 参加者数：79人

22 危機管理対策推進事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	941 万円	973 万 2 千円	△32 万 2 千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区本部体制の強化を図ります。

また、災害時に迅速かつ的確な情報発信・収集をするため、緊急時情報伝達システムの運用を進めます。

1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

- ・災害対策連絡協議会（書面開催）

(2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

(3) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との更なる連携強化を図ります。

- ・鶴見川水防訓練：6月27日、佐江戸町内会エリア

参加者：都筑消防団、都筑消防署、都筑警察署、都筑区役所 計22人

（防災関係機関による情報受伝達訓練や防災用スピーカー等による広報活動）

(4) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区職員の災害対応力を向上させ、区本部体制の強化を図ります。

2 防災啓発事業の実施

発災時に迅速かつ的確な避難行動を取っていただくために、防災・生活マップやハザードマップを増刷の上区民の方へ配布し、日頃から避難所の位置や避難行動について理解を深めていただけるように、災害対策について啓発を図ります。

- ・防災・生活マップ：13,000部増刷済

- ・洪水ハザードマップ：2,500部（局より配付予定）

3 区本部体制の維持・管理

(1) 区本部運営に必要となる備蓄品や資機材等の維持管理、整備を行います。

- ・避難所用新型コロナウイルス感染症対策用物品の購入（アルコール消毒液、マスク、非接触型体温計、感染症対策用キット、テント、間仕切り等）

(2) 防災用スピーカーを、鶴見川沿いに1基増設しました。

- ・防災用スピーカー1基増設（横浜市交通局川和車両基地）：6月11日運用開始

- ・防災用スピーカーの点検（11拠点）

4 緊急時情報伝達システムの運用

災害発生時又は災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

- ・受伝達訓練：6月5日

23 食と暮らしの安全推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	91 万円	83 万 1 千円	7 万 9 千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

1 食の安全確保事業

(1) 食品取扱施設の衛生確保事業

横浜市食品衛生監視指導計画に基づく食品取扱施設への監視指導を、効果的・効率的に実施します。特に、抵抗力が弱い高齢者や乳幼児などを対象に食事を提供する社会福祉関連給食施設については、検査キットを用いて衛生指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：

9月～3月、小学校・社会福祉関連給食施設 70 か所

(2) 食の安全に関する情報発信事業

食中毒予防パネル展や地域活動の担い手に向けた出前講座の実施により、食中毒予防に関する情報を発信します。イベントや講座では、簡易機器を用いた手洗いの効果測定や手洗い方法を示したクリアフォルダの配布により正しい手の洗い方を周知します。

また、消毒液の適切な使用方法をプリントしたステッカーの配布により、ノロウイルス食中毒予防についても周知します。

・食中毒予防パネル展：8月4日～6日、区民ホール

8月17日～21日、2階絵画前 PR スペース

9月～12月、3回

2 暮らしの衛生確保事業

(1) 動物、昆虫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチなどの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

・猫侵入防止器の貸出：3件（7月末時点）

・ねずみ捕獲器の貸出：0件（7月末時点）

・ハチの巣駆除機器の貸出：6件（7月末時点）

(2) 区民が利用する施設の衛生確保の推進

理美容所で使用する器具等について、検査キットを用いて衛生指導を行います。

・拭取り検査を併用した衛生指導：1月～3月、20 施設

3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰を実施するとともに、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

・動物愛護週間イベント：9月17日～24日、区民ホール（表彰式は中止）

施策5 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

24 ハマロード・サポーター、 重点 拡充 公園・緑道愛護会等活動推進事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	465万9千円	423万円	42万9千円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体や個人に都筑区の実情に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロード・サポーター事業

各団体（43 団体）が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動に配慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等で活動をPRするとともに、パネル展示を行いました。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、交流会の開催を検討します。

- ・道路ふれあい月間での活動PR：道の日イベント（8月30日）
- ・パネル展示：8月27日～9月3日、区民ホール、展示団体数16団体
- ・都筑区交流会：12月

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

都筑区公園愛護会（152 団体）及び水辺愛護会（3 団体）の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展示やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場で愛護会向けの花苗を生産・配布するための消耗品等を提供します。

- ・パネル展示：8月27日～9月3日、区民ホール、展示団体数16団体

3 活動ステップアップ相談事業

専門的な支援を求める団体からのニーズに応えるため、外部アドバイザーによるサポートを行います。

また、支援ニーズに応えたり、担い手を増やすための効果的な施策を実現したりするにあたっての助言を外部から得ます。

4 都筑^{りょくか}緑花塾事業

ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会を対象に、より高質な緑花を推進するための技術講座を開催します。

あわせて、講座を通じて都筑区の実態に適した園芸手法をまとめ、普及を支援します。

- ・ナチュラルガーデン講座：6月30日ほか計5回、東方公園ほか
 - 第1回 6月30日 昨年度の振り返りと補植作業について講義
 - 第2回 7月28日 東方公園において草とり、剪定のポイントについて講義

5 ちょっとボランティア推進事業

「ちょっとした掃除等なら個人的に協力できる」といった潜在的な区民協働の担い手の方々に、緑道など身近な公共空間の美化・清掃等に組み込んでいただくにあたり、土木事務所としてサポートできること、活動に当たって留意いただきたい点などをまとめた案内カードを配布します。また、要望に応じ、活動に必要な道具や清掃用品を提供します。

案内カードの内容は、土木事務所のホームページにも掲載します。



活発な愛護会活動により花の名所として
親しまれている江川せせらぎ緑道

25 環境にやさしいまち推進事業 拡充	R2 予算額	R1 予算額	増△減
		212 万 2 千円	171 万 4 千円

「SDGsにつながる取組」、「温暖化対策」及び「3R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 SDGs 啓発

(1) 親子向け環境アドベンチャー

子供向けに SDGs の観点から環境問題を身近に考えてもらうきっかけづくりとなるイベントを SDGs 環境フェアと合同で開催します。(10月24日)

(2) SDGs 環境フェア

SDGs の様々なゴールにつながっているプラスチック問題の解決に向けたきっかけづくりや、家庭で取り組む3R行動を紹介するイベントを開催します。

- ・つづき3R夢週間パネル展(第2回):10月23日~27日
- ・東京農工大学 高田教授による講演会:10月24日

2 温暖化対策推進事業

(1) 緑のカーテン事業

区庁舎に設置されている緑のカーテンを維持管理し、区内小中学校(10校)、及び区内公共施設(地域ケアプラザ及びコミュニティハウス)への緑のカーテン設置を支援します。

(2) つづきエコ活啓発事業

区民の皆様へ、身近な温暖化対策の取組をPRし、普及啓発に取り組めます。

3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止対策、農業専用地区の一斉清掃の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援:14団体(8月末)
- ・ポイ捨て防止啓発:10月 区庁舎周辺、2月 中川駅周辺

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動推進のため、つづき3R夢週間を始めとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した市民等への啓発、「つづきっこ読書応援団」との協働によるリユース図書の募集・配付などを行います。

- ・つづき3R夢週間パネル展等:7月24日~28日(第1回)
(ごみと資源の相談コーナー設置 7月25日 130人)
10月23日~27日(第2回)
- ・赤ちゃん会での3R夢啓発:9月~3月、14会場
- ・リユース図書の配付:11月、区内小学校

4 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

街の美化や3R夢行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。また、温暖化対策・3R夢に関する情報を共有する会議を行いました。

・表彰：6月26日（被表彰者数：4団体、8個人）

26 つづき水と緑の魅力アップ推進事業	R2 予算額	R1 予算額	増△減
	256 万 5 千円	263 万 9 千円	△7 万 4 千円

環境創造局と連携し、区内の貴重な緑地の保全や農地の活用を進めます。

さらに、引き続き都筑区花いっぱい運動に取り組むことで、花や緑を大切にすることを醸成します。

また、「都筑区水と緑の散策マップ」を用いて、都筑区の環境資源の魅力を発信します。

1 みどりアップ推進

(1) みどりアップ計画および市民の森PR事業

区の魅力資源の一つである市民の森（池辺・川和）のPRに取り組みました。

- ・パネル展の実施：8月6日～12日

(2) 都筑区花いっぱい運動の推進

ア 花と緑の親しみづくりイベントの開催

区制25周年を契機に選定した「つづき みどりと花の名所25選」の一部を巡るウォーキングイベントを開催することで、花や緑を大切にすることを醸成するとともに、区内の貴重な環境資源の魅力を発見する機会とします。

- ・第3回：5月17日 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
- ・第4回：6月21日、31人

イ 「早淵川・老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

2 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」については地図情報等の更新（令和元年度に実施）したものを増刷し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。また、マップの次回の更新に向けた情報収集を行います。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン

令和2年度 都筑区個性ある区づくり推進費 (自主企画事業費) 現年度事業見直し及び活用について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、都筑区個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）の全事業を対象に見直しを行いました。

見直しの結果、削減した事業費を活用して新たに新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式に即した事業展開を実施します。

(単位：千円)

自主企画事業費総額	101,026
事業見直し結果	▲ 11,132
新型コロナウイルス感染症対策等への活用	11,132

■事業見直し結果	▲ 11,132
(主な見直し内容) ※事業No.は区づくり推進横浜市会議員会議資料2記載の通り	
1 まちづくり総合調整事業	▲ 650
(区民文化センター(仮称)機運醸成事業の一部中止)	
4 区役所改善推進事業	▲ 1,586
(区庁舎内LED化工事の一部見送り、一時託児の利用休止)	
9 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	▲ 992
(両親教室等の休止)	
17 街のにぎわいづくり事業	▲ 4,000
(都筑区民まつりの中止)	
25 環境にやさしいまち推進事業	▲ 434
(環境フェア実施方法の変更、啓発物品等の見直し)	

■新型コロナウイルス感染症対策等への活用	11,132
1. 感染症防止対策物品の購入に係る費用	9,593
・地域防災拠点等避難所における感染症対策物品(間仕切り、非接触型温度計、消毒液等)の配備	
・区庁舎内感染症予防対策(アクリルパーテーション等)、事業実施に伴う感染症防止対策物品の購入	
2. コロナ禍における事業展開に係る費用	809
・講演会等の手法変更、代替実施	
3. 新しい生活様式を踏まえた環境整備	200
・関係機関とのリモート会議等のために必要な機材の購入	
4. 新型コロナウイルス感染症対策関連情報の広報に係る費用	530
・タウン誌への各種支援策の案内記事掲載費用	
・感染症予防啓発マグネット(車両貼付)作成	

令和3年度 都筑区個性ある区づくり推進費 予算編成の考え方について

令和3年度都筑区個性ある区づくり推進費自主企画事業費の予算編成にあたっては、**新型コロナウイルス感染症対策及び新しい生活様式に即した必要な取組を進める**とともに、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現を目指し、次に掲げる5本の柱に基づき、施策を着実に進めてまいります。

都筑区らしさとして打ち出していく5本の柱

ア つながりと協働を育むまち

人と人とのつながりが実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくため、団体間の連携促進、人材の確保など、地域支援の取組の充実を図ります。

また、第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」を地域と共に推進します。

あわせて、共感と信頼の区役所づくりを進め、つながりづくりを支えます。

イ いきいきと健やかに暮らせるまち

都筑区は年少人口の割合が18区で最も高く、平均年齢が最も若いまちです。子育て世帯に選ばれるまちとして、更なるこども・子育てへの支援を図ります。

また、今後早いスピードで進む高齢化を見据え、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を進めるとともに、「都筑区健康アクション！」に基づき、各世代に応じた健康づくりを進めます。

ウ 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

都筑区ならではの都筑野菜、優れた技術を持つ中小製造業、文化、スポーツや商業団体などの地域資源を積極的に活用した取組を進めます。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、更なるにぎわいづくりに取り組みます。

エ 安全・安心なまち

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、自助・共助による防災の取組や地域の自主防犯組織による防犯活動への支援などを行います。

また、全国各地で発生している地震や豪雨による被害で区民の防災・減災への関心が高まっていることを受け、地域や関係機関・団体と連携して震災や風水害に対する更なる取組を進めます。

オ 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

中期4か年計画で示されている「ガーデンシティ横浜」の推進を踏まえ、都筑区においても、花と緑にあふれるまちを目指し、施策を進めていきます。

都筑区の地域資源である公園や緑道などの整備に取り組むとともに、区内の魅力ある豊かな環境資源を広く発信していきます。また、環境にやさしいまちを目指し、地球温暖化対策を進めます。